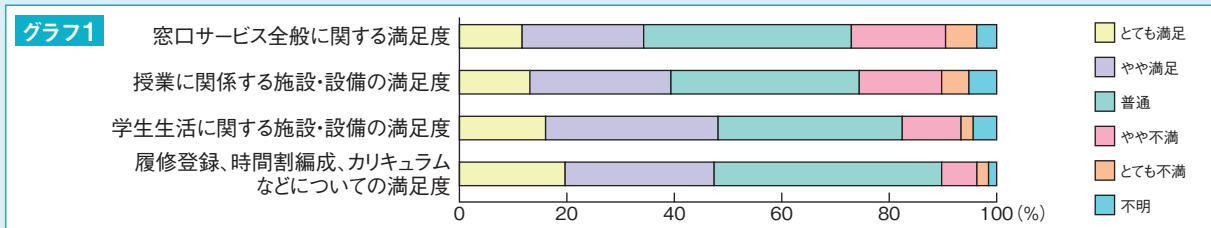


2008年度 「学生による教育環境改善のためのアンケート」実施報告

【実施日程・調査方法】 2008年度「学生による教育環境改善のためのアンケート」は、2008年12月16日から22日の間に実施しました。また、「学生による授業評価アンケート」とともに指定クラスの授業内において教員から学生に直接配付とし、授業欠席者、指定クラスを履修していない学生などに対しては自宅宛に送付しました。回収については、指定クラスの学生代表者による窓口への提出を基本とし、それ以外は学内投函箱へ提出、郵送により提出する方法をとりました。また大学院生についても同様に配付・回収を行いました。

このアンケートは学生・院生のみなさんから、意見を広く集めることを狙いとしており、4つの設問に対し、満足度を5段階「①とても満足②やや満足③普通④やや不満⑤とても不満」であらわし、設問ごとに自由記述欄を併設し実施しました。

【集計について】 アンケートの回収は、学部・大学院の学生を合わせて対象とした8,535名の内、3,372件のデータを回収することができ(回収率:約39.5%)、学部・大学院それぞれ所属別・学年別に満足度の集計を行いました。満足度の結果は**グラフ1**の通りですが、詳細については自己点検・評価活動のホームページをご覧ください。自由記述については、全てタイプ打ちし、個人を特定できないように資料を作成し、その内容については「授業評価アンケート」同様、個別の公表は行いませんが「フィードバックコメント」という形で大学からの回答をホームページに掲載します。



【今後について】 今後は「事務局自己点検評価委員会」を中心に、アンケート結果に基づく問題点を抽出し、その検討および改善に取り組むことを予定しています。なお、活動状況・改善報告等につきましては、アンケート結果に対するフィードバックコメントとして回答するとともに、適宜、大学ニュースやホームページにて報告します。

【フィードバックコメントの概要】

1. 2008年度の教育環境改善報告

窓口対応など

- 2007年度に策定した「窓口対応スローガン」(挨拶・丁寧・正確)をより具体化した「窓口対応に関するガイドライン(行動基準)」を職員に明示し、窓口対応に際しての心掛けを再認識するよう努めました。
- 各部課室においてミーティング等を強化することで情報共有の徹底をはかり、一般的・基本的な質問・相談等については速やかに対応できるよう努めました。
- 事柄の正確性、厳格性、または個人情報などの重要性を鑑みながら、可能な限り迅速な処理・手続に努めました。

教育施設

- 2棟を解体し、新教室棟(東側)の建設に着手しました。
- 5棟1～3階の一部を改修し、教室化しました。
- グラウンド管理棟を建設し、運用を開始しました。
- 天野貞祐記念館(図書館ゾーン)の空調機増設を行いました。
- ライトダウンなど、省エネルギーに関連する様々な取り組みを行いました。

学生生活施設

- 学生食堂運営業者と定期的なミーティングや試食会を開催し、メニューの見直しに努めました。また、原材料費高騰への対処をしながら、価格の据え置きに努めました。
- 文化部室棟に設置した楽器庫の窓ガラスの改修をし、防犯用フィルムを貼付しました。
- 新甲子セミナーハウスの内装・設備関係の改修を行いました。
- 分煙を推進し、灰皿の撤去や喫煙場所の明確化に努めました。
- プロムナードの再舗装を行いました。
- 新教室棟建設に伴い、新たに自転車駐輪場を確保しました。
- さくら橋総合教育施設(松原団地駅前)の建設に着手しました。

2. 2008年実施のアンケートに対するフィードバックコメント

窓口対応について

このアンケートを実施してから4年目となり、アンケートの結果からも徐々にではありますが、改善されている様子が学生からの評価からも伺われました。その一方で、今回のアンケートの結果から、部課室や職員の年代の違いにより学生への対応差異があるという印象を受けるため、昨年度までに策定した窓口対応スローガンおよびガイドラインを改めて徹底し、対応レベルの引き上げ・均等化を図っていききたいと思います。

業務取扱時間について

業務取扱時間については、随時検討を行っています。

案内・告知について

新教室棟建築工事期間中は、従来の第1～5掲示板が利用不可となるため、中央棟東側の工事壁に掲示板を仮設しました。掲示板を利用し、ホームページ等の活用も行い、不便を感じないようにインフォメーションしていきます。

教育施設・学生生活施設について

教室の老朽化については、新教室棟建設と既存施設・設備の改修工事を並行していくことで対処していきたいと考えています。

アリーナおよびグラウンドに関しては、設備の充実のほか、施設の運用方法についても検討し、快適に利用できるように施設にしていきたいと考えています。

省エネや障がいのある方に対する配慮については、継続的に取り組んでおり、2009年度においても環境共生研究所を中心として教職員・学生および学内関係者への協力呼びかけ、取り組みに努める予定です。

学生食堂やカフェの運営については、運営業者との間で品質と価格のあり方についてさらに検討を進めていきたいと考えています。

昼食時の混雑緩和については、キャンパス再編計画策定の際、議論していきたいと思えます。

部室棟については、現在建設中の新教室棟やさくら橋総合教育施設につづくものとしてキャンパス再編計画に位置付けられるよう、検討を進めていきたいと思えます。

新甲子セミナーハウス(学外研修所)については、築30年を越えているため、設備関係を含めた修繕計画が必要となっています。新甲子セミナーハウスについて、寄せられた意見をできるだけ今後の修繕計画のなかで、反映していきたいと考えています。

その他

喫煙に関しては、分煙化を推進していますが、学内全面禁煙については喫煙者の意見も考慮しながら進めていきたいと考えています。

現在、東側新教室棟の工事のため学内の通行が制限されているため、構内歩行の安全確保の観点からも自転車駐輪登録制度を導入し、自転車の放置防止をするなどして安全確保に努めています。工事期間中はご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いします。

この記事に関する詳細は「自己点検・評価活動のページ」をご覧ください。 <http://www.dokkyo.ac.jp/jikotenken/index.htm>

※大学ニュース4月号にてお知らせしました「学生による授業改善のためのアンケート」結果(数値データのみ)と結果に対するフィードバックコメントは、現在、教務課、図書館、学生会にて閲覧することができます。閲覧の際は、お近くの職員までお知らせください。